

<学校教育目標>

自分のおもいや考えをいきいきと表現し実行できる子の育成

豊かな心

健やかな体

<目指す子ども像>

自ら探究する子(主体的な学び) 話し合い考えあえる子(対話的な学び) 伝えあえる子(深い学び)

- 規範意識の向上と実践的態度の育成
 - ・なぜ守らなければならないのかを理解して行動する。
 - ・学校のきまりを見直し全教職員が共通理解のもと、ねばり強く指導する。
 - ・家庭や地域と連携して、子どもを同じ目線で育てる。
- 道徳教育の充実(習得・気づき)と実践的態度の育成
 - ・道徳の時間を核として学校教育全体で取り組む。(教科化に向けた取組)
 - ・子どもたちの心を揺さぶる授業の展開を実践する。
- 感動を表現する態度の育成。
 - ・学校の授業や生活の中から、また、家庭や地域の生活の中から感動を引き出す取組を展開する。
- 自尊感情と自己有用感を高める。
 - ・自分を大切にし、人を大切にできる子どもの育成。(人権教育)
 - ・支持的風土をもった学習集団の育成。思ったこと考えたことを実行する。

学校運営協議会

公開できる情報を共有し、学校の現状を報告し、提言を受けたり、学校の取組を推進するための支えとなったりする。

地域

保護者

保護者・地域に開

- 基礎体力の向上を目指す取組の推進
 - ・子どもの運動量を十分に確保した体育科の授業。
 - ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の分析をして、子どもたち自ら課題解決に向けた取組ができるようにする。
- 健康自立に向けた取組の推進
 - ・自分の体や命の大切さを知る学習や活動を積極的に推進し、自ら健康を保とうとする実践的な態度を養う。
 - ・家庭との連携を大切にする。
- 食育指導の充実
 - ・給食を題材とした栄養指導を展開し、家庭や個に応じた指導を行う。
 - ・学級活動内容2や家庭科において実践的な態度を育てる指導を実施する。
- 安全教育・防災教育の充実
 - ・安全教育計画の充実(知識と判断力の育成)
 - ・地域と連携した防災教育の推進(実践力の向上)

自ら学ぶ力の育成

確かな学力

- 見えにくい、見過ごしやすい学力を向上させ評価する。(根っこ教育)
 - ・徹底した個の見取りをする。・「自主性」「自発性」「自治性」を育てる授業の推進
- 普通授業の充実
 - ・確かな学習問題や価値ある課題を子どもたちが追究する指導を展開し確実に指導しきる。
 - ・学年会を中心として、教材研究を充実し学習の準備を確実にする。
- 結果としての学力を分析し、指導にいかす。
 - ・全国学力・学習状況調査、ジョイントプログラム等の結果を分析し、指導の改善を図る。
 - ・適切な時間と場を確保して、単純な反復練習による基礎基本の確実な定着を図る。
- 図書館やICT機器を有効に活用し、課題解決学習・問題解決学習を推進し、子どもの主体的な学びを育むと共に地域の人材や教材をいかした、教育活動を展開する。
 - ・自ら学校図書館や地域の図書館で自学自習しようとする態度を育む
 - ・自ら家庭学習の計画をたて、継続的に行えるように指導する。
 - ・「伝え合う」ことを目的として、思考力・判断力・表現力を育む。

何ができるようになっていけばいいのかを常に意識して指導しきる。

自ら律する力の育成

- 確かなビジョンもち、教育にたずさわる専門職として、子どもの学力を向上させるために、常に研修に励み、その専門性を向上させると共に社会人としてあるべき姿の伏見板橋校の教職員。
- <教職員の主体的な自己研鑽>